

合同検討委員会ニュース

【鳴子温泉地域版】第1号 2021年9月発行

未来を担う子どもたちへ ―教育環境の充実を目指して―

編集発行：学校教育環境整備推進室

問合せ先：大崎市教育委員会 教育総務課

TEL：72-5032 FAX：72-4004

メール：ed-soumu@city.osaki.miyagi.jp

大崎市教育委員会では、未来を担う子どもたちの教育環境の充実を目指し、平成24年3月に「学校教育環境整備指針」（以下、「整備指針」と記します）を策定しました。この「整備指針」には「安全・安心で等しく教育が受けられる環境づくり」「教育効果を高めるための環境づくり」「市民ニーズに対応した教育施策と資質の向上」の3つを掲げ、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備する指針としています。この「整備指針」に基づき学校再編を進め、鳴子温泉地域で小学校及び中学校の統合に関する懇談会を行ってきました。今後、学校統合に関わる懇談会等の内容を「合同検討委員会ニュース」としてお知らせしてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

鳴子温泉地域の小学校・中学校の統合に関する「合同検討委員会」開催

令和3年8月17日（火）鳴子公民館で第1回合同検討委員会を行いました。この委員会は「鳴子温泉地域の学校統合」について教育委員会が主管となり各委員からご意見を伺う会です。この検討委員会は、本来、令和2年度中に開催を予定しておりましたが、コロナウィルス感染症の影響で今年度に延期となり、今回が1回目の委員会の開催となりました。構成員は鳴子温泉地域小中学校のPTAから選出された8名の方と各地区地域づくり委員会等から選出された10名の方の総勢18名です。当日に使用した資料や委員の意見等を集約してお知らせします。

1 鳴子温泉地域の小学校・中学校の児童生徒数の推移 毎年度5月1日現在（ ）内は学級数

	平成元年	平成5年	平成10年	平成18年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
鳴子小学校	346(14)	264(13)	171(7)	111(8)	79(8)	72(8)	63(7)	56(8)	61(8)
川渡小学校 上原分校	281(12) 39(4)	236(12) 63(6)	220(9) 25(3)	147(7) —	110(9) —	113(9) —	116(9) —	96(8) —	85(9) —
鬼首小学校	123(8)	128(8)	123(8)	68(8)	15(4)	15(4)	18(4)	17(4)	15(4)
中山小学校	52(6)	41(5)	37(5)	24(3)	—	—	—	—	—
鳴子中学校 川渡中学校 鬼首中学校	242(7) 158(6) 66(4)	179(7) 166(7) 63(4)	154(8) 140(6) 60(3)	224(8) — —	96(4) — —	92(5) — —	87(5) — —	82(7) — —	94(6) — —
合計	1,325	1,230	930	574	300	292	284	251	255

※平成元年と比較すると令和3年度の児童生徒数は、5分の1以下に減少しています。

2 今後の児童見込み数

令和3年5月1日現在

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	備考
鳴子小学校	2	4	2	12	5	
川渡小学校	11	3	4	10	7	
鬼首小学校	0	0	1	1	2	
合計	13	7	7	23	14	

※5歳児が来年度1年生になります。

3 合同検討委員会で用いた資料についての説明と委員の皆様から出された主な質問や意見等

主な資料の説明



＜合同検討委員会の様子＞

- ・ 鳴子温泉地域学校統合に関する合同検討委員会について
 - 検討委員会の趣旨と進め方
 - 検討事項 ①合意形成 ②統合を想定しての考え方（校舎位置，校名・校章・校歌，スクールバス，学童保育，伝統芸能の継承，跡地利活用等）
- ・ 現在（令和3年度）の鳴子中学校の校舎について
- ・ 鳴子温泉地域の児童生徒数の推移について
- ・ 義務教育学校と鳴子中学校区の小中一貫教育構想について

主な質問や意見

○はご意見とご質問 ⇒は教育委員会の回答

○鬼首は令和7年度入学生から0になる。統合はうすうす感じてはいた。

⇒少子化の問題や子どもの成長を考え、「学び合い」「遊び合い」をさせたい。

○将来的に統合する学校に入学する保護者の方に集まってもらって話し合いをした方が良い。それと鬼首には学童保育がなく，鬼首に住所があっても鬼小に通わせられない事情もある。

⇒実情として把握させていただきます。

○これまで行ってきた保護者説明会も何年も前の話になっている。改めて説明をしていく必要があるのでは。ゆくゆくは統合やむなしだが，子どもが学校になじむまで相当年かかる。

⇒本日の会議内容等，統合に関わるニュースを発行，毎戸配布したり，「統合」ということになれば，改めて説明会を行っていく計画です。

○子どもの安全，通学路の確保を。小中統合で教員増員はあるのか（特に障害のある子ども対応）。

⇒スクールバスの停留所は皆さんの総意と考えている。増員については県教委（人事）が関わる。

○「統合は令和6年度」と聞いたが？制服は買い換えが必要？跡地利用も気になるが，広く公募を。

⇒様々な条件をクリアする必要がある，最速で6年度と考えている。制服については統合が決定した段階で立ち上げる組織において協議する。跡地利用については，検討事項として承りたい。

○統合で失敗した例，問題があったことも話してほしい。一緒になるのは仕方ないが，保護者が心配しているのはスクールバスのこと。低学年の父兄の意見も拾ってほしい。

⇒スクールバスの課題については，是非皆さんの力をお借りして解決していきたい。

○検討事項は出るのか？説明会で出てきているはずだが，それを示してもらえば検討できるのでは？

⇒この合同委員会は「統合」についての「合意形成」をいただく会である。これまで出された統合に関する子細を含めて，「統合準備委員会」で決めていくことになる。

○R6年と言うことだが，精神的なフォローを考えて，もう少し長いスパンが必要と考える。

○人数は多い方がいい。競争心が芽生えていい方向に進む。皆に分かるように周知してほしい。

○1年生から9年生までずっと一緒に人間関係が心配である。中学校でリセットされることもある。

○中学校に小学校が入るという考えで良いか。鳴中はどうもいった。小中一貫校もうまくいったほしい。

○現実を考えると統合やむなし。支援学級の充実を継続させてほしい。鬼首にも学童保育を，または学校の敷地内に（学童保育で）利用できる場所を作してほしい。

○先進校視察等で分かった「一貫校」の「良いところ」「課題点」を示してほしい。

○いつの段階で「小中一貫校」になったのか。副校長の役割とは何か。コミュニティスクールはやめた方がいい。社会の変化に伴い，仲間の多いところで過ごさせてほしいと思う。